

「第1回神奈川県支部吟行会」成績

日時 令和五年十一月二十九日（水）

場所 関内ホール

吟行地 横浜港周辺

支部長賞

投げ銭を落葉のギターケースへと 長谷川耿人

馬車道を冬將軍の来たりけり 涼野 海音

獲物狙ふ寒禽細き脚揃へ 天野 直子

太田土男選

特選 木枯をそびらにジャズのただなかへ 長谷川耿人

漢方の匂ふ街角銀杏散る 大西 主計

馬車道に星を売る店冬ぬくし 清水ゆみ子

入選 初冬のデッキに鳩のふくらめる 二宮 英子

木枯らしに連れ去られまじ赤い靴 栗林 浩

冬日和野口英世の検疫所 川守田健雄

投げ銭を落葉のギターケースへと 長谷川耿人

冬うらら老舗に馬の水のみ場 西川 肇子

喫水線上げるタンカー冬暖し 岩橋 恭子

触れてみる焚火の句碑や冬ぬくし 原 真砂子

大元祐子選

特選 冬薔薇あまたの移民発ちし波止 大坪 正美

積み終はるコンテナに乗る雪の富士 佐藤 龍夫

この空の続きに戦火ゆりかもめ 渡辺 一枝

入選 インバネスの青年仰ぐ未来かな 宮崎 清美

冬帽子見ぬちに荒ぶ風を聴く 緑川美世子

冬天に触れてはもどる観覧車 橘田多賀司

冬の蝶たしか交番あつたはず 片桐と志え

「ナポリタン」の元祖それぞれ小六月 坂間 壽子

さざ波のさねさし相模冴ゆるかな 今村 千年

銀杏の踏みしだかれて未来都市

別所 信子

神谷章夫選

特選 冬空やジャックの塔のなほ高し

猪俣 達夫

饒舌な夫婦の手話や落葉道

天野 直子

触れてみる焚火の句碑や冬ぬくし

原 真砂子

入選 呼ばれたるやうに飛び立ち冬鷗

篠原 広子

冬天に触れてはもどる観覧車

橘田多賀司

投げ銭を落葉のギターケースへと

長谷川耿人

物語生まれさうなる冬木立

川島 佳子

ガンダムはまだ踏み出さず冬の雲

後出 博子

冬の海点滅多き未来都市

飛田小馬々

銀杏の踏みしだかれて未来都市

別所 信子

田口茉莉選

特選 ぶらさがる家鴨飴色小六月

矢嶋なほ固

観覧車冬日を溜めて動かざる

内田 吉彦

獲物狙ふ寒禽細き脚揃へ

天野 直子

入選 冬天に触れてはもどる観覧車

橘田多賀司

ぬつと来て焼栗見せる男かな

後藤 勝久

冬波を残し倉庫の男去ぬ

大平 雅芳

ゆつくりと冬日を回す太極拳

佐藤 一星

少女像の膝に組む手の冷たさよ

西田 啓子

寒鰯の海より冷えて売られをり

石田 静

馬車道に星を売る店冬ぬくし

清水ゆみ子

戸恒東人選

特選 投げ銭を落葉のギターケースへと

長谷川耿人

獲物狙ふ寒禽細き脚揃へ

天野 直子

カフェラテを父に奢りて海小春

小松 萌

入選 落葉拾ふ花壇の中にひざまづき

大坪 正美

ぶらさがる家鴨飴色小六月

矢嶋なほ固

くちびるの散らばつてゐる冬薔薇

曾根新五郎

帆のかげの水におちつく神の留守
カッブルを汲む観覧車あたたかし
帆をかたく巻き冬晴の日本丸
冬凧の沖に張り付く貨物船

小倉 立史
石田 静
三浦 郁
西村 逸夫

中戸川由実選

特選 しづかなる冬日を底に船渠跡

長谷川耿人

引き潮に二羽の遅れて百合鷗

青木 玲子

聖樹の灯自動扉の向こう側

堀口みゆき

入選 呼ばれたるやうに飛び立ち冬鷗

篠原 広子

行きつけの中華屋による小春かな

須藤 昌義

冬ぬくし榭供ふる操舵室

高橋 流行

この空の続きに戦火ゆりかもめ

渡辺 一枝

銀杏散る官庁街をひとついろに

大胡 芳子

日短か合図手振りの作業船

石井 公子

出航のなごりの波や浮寝鳥

西村 淑子

名取里美選

特選 くちびるの散らばつてゐる冬薔薇

曾根新五郎

馬車道を冬將軍の来たりけり

涼野 海音

手にすれば失ふ怖さ竜の玉

笹ヶ瀬正二

入選 落葉道風まで落ちてしまひけり

渡辺 一充

見えてくる命の透ける雪螢

曾根新五郎

物語生まれさうなる冬木立

川島 佳子

冬鷗みな背を沖に向けて浮く

中根 美保

銀杏落葉奔りて心明るうす

十亀 健一

遠き日の別れの音や落葉踏む

原 雅子

横浜の冬蝶となる白さかな

中村 洋子

波戸岡旭選

特選 冬の朝中華街ごと蒸しあがる

緑川美世子

重ね着の肩の触れ合ふ陶器市

柳澤 宗正

寒鰯の海より冷えて売られをり

石田 静

入選

馬車道に馬留あまた小春かな

阿部恵美子

チャプリンを乗せて小春の氷川丸

小林 和世

帆船の舵輪は二重冬日燦

花野 くゆ

冬空やジャックの塔のなほ高し

猪俣 達夫

海底にうねるケールブルゆりかもめ

渡辺 一枝

親の夢引き擦つてゐる千歳飴

石川 笙児

馬車道に星を売る店冬ぬくし

清水ゆみ子